

## 国際英語学部国際英語学科英語圏文化専攻

### 教育課程編成・実施の方針

---

---

国際英語学部国際英語学科では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を教養教育課程（全学共通科目）と専門教育課程（学部固有科目）で構成し、実施します。

#### 《教養教育課程（全学共通科目）》

全学共通科目の卒業要件単位数は、40 です。教養教育課程は、全専攻共通になっています。全学共通科目を中心に様々な科目の中から、自然科学、社会科学、人文科学、語学の各領域を満遍なく目的意識を持って自律的に履修することによって、幅広い教養とともに多面的な思考力、論理的思考力、コミュニケーション能力等を養い、豊かな教養人となるために自己研鑽を継続し、社会の発展に貢献しようとする姿勢を磨きます。

#### 《専門教育課程（学部固有科目）》

学部固有科目の卒業要件単位数は、84 です。英語圏文化専攻は、専門教育課程を以下のように編成します。

英米のみならず、英語を公用語とする英語圏の言語文化に関する広範な専門知識と教養を自主的・主体的に学び、英語圏の文化の多様な価値観と文化を尊重し、異文化交流のあり方を倫理的、複眼的、かつ、体系的に理解できる判断力を身につけることを目的とします。あわせて、グローバル化時代に見合った高度な英語運用能力及び情報収集・処理能力を養い、社会的責任とリーダーシップ精神に関して理解を深めていくことで、日本だけでなく世界各国の発展に積極的に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。なお、成績評価は、あらかじめシラバスにより公表された授業計画及び学修到達目標を踏まえて厳正かつ適正に行われます。

#### 1. 履修区分に応じて科目群に分類

① 必修科目 (44 単位) は、学修目標に従って以下のように分類されます。

A. 学士 (国際英語学) にふさわしい知見を獲得し、キャリア教育を目的とする科目群：  
国際英語学に関する知識の自主的・自律的修得及びキャリア形成に資する能力の向上を目指します。

「国際英語入門」、「国際キャリア・ディベロップメント」

B. 英語運用能力の向上を目的とする科目群：グローバル化時代に必要とされる高度な英語運用能力を身につけます。

「Oral Communication I～IV」、「Academic Writing I～IV」、「Reading I～IV」、  
「Presentation I～IV」、「英文電子文書作成 I～IV」

C. 英語圏文化の体系的理解を深めるべく、入門から卒業論文作成まで運営する演習科目群：能動的・主体的なディスカッションやディベートを通じて、初年次から英語圏文化の専門的な知識や幅広い教養をグローバルな視点から理解することができます。初年次教育では、演習形式を通じて、英語圏文化に関する入門的知識、又は語学及び専門教育科目を自主的・主体的に学修する手法を身につけることができます。4年次では、自ら研究テーマを設定し、独自の視点から分析調査し、またそれに基づいて自身の見解を卒業論文として完成させるための方法や英語・日本語の高度、かつ、専門的表現を修得できます。

「英語圏文化入門演習 I・II」、「英語圏文化演習 I～VI」

D. 基礎力をつけた 3 年次にさらに応用・発信型の英語力向上を目指す科目群：グローバル化社会において必要とされる実践的な英語能力を獲得することができます。

「Critical Reading I・II」、「English Project Workshop」

② 選択必修科目 (14 単位) は、学修目標に従って以下のように分類されます。

A. 3 年次・4 年次に上級レベルの英語運用能力を自主的・主体的に修得することを目的とする科目群

「Professional English I～IV」、「Professional Writing I・II」

B. 英語圏文化について、地域区分により複眼的かつ体系的に知識を獲得する科目群

「イギリス研究入門」、「イギリス研究」、「アメリカ研究入門」、「アメリカ研究」、「英語圏研究入門」、「英語圏研究」、「イギリス文学 A・B」、「アメリカ文学 A・B」、「英語圏文学 A・B」

C. 座学を越えた体験学修の機会を与える海外研修科目群：長期・中期・短期の海外研修を通じて、現地で異文化交流を直接体験し、英語運用能力の向上とあわせて多文化・異文化理解に対する認識を深めることができます。

「交換留学」、「セメスター留学」、「海外大学研修 1・2」、「海外セミナー I・II」

③ 選択科目 (26 単位) は、英語圏文化について幅広く学ぶべく多岐にわたり展開していま

す。

A. 英語による講義科目群

「American Social History」、「British Social History」、「History of Cultural Exchanges I・II」、「Media Literacy I・II」、「Women's History」、「Current Topics I・II」を開講。

B. 教員の免許状取得のための選択科目群

「英語科教育法 I・II」、特に「英米文学」に関しては、「比較文学論」、「批評理論」、「エンターテインメント文芸」、「演劇文化論」を指定しています。

C. 現代的な問題意識とニーズに応える科目群

「音楽文化論」、「映画文化論」、「現代文化論」、「児童文化論」

D. 英語発信力を高める科目群：他者との協力・協働作業を通じて、協調性・社会性を身につけるとともに英語コミュニケーションの実践的能力を高めることができます。

「Intensive Workshop I・II」

なお、英語圏文化専攻開講科目の特徴として、英語による講義科目・上級年次向け英語科目を海外から中京大学への交換留学生が参加する授業とし、それらを通じて本専攻生は実践的な異文化交流を体験できます。

## 2. 進路や関心に応じて3つの履修モデルを提示

### ①教員の免許状取得を目指す学生の履修例

英語圏文化専攻が開講する講義・演習・実習により英語教員として英語の本流と文化的素養を身につけます。さらに他専攻が開講する英語学系科目・異文化理解系科目を選択科目として修得できるため、「教科に関する科目」については、卒業要件の範囲内で修得可能となっています。

### ②文化研究を目指す学生の履修例

高度な英語力を培った上に、多彩な文化研究科目を自らの興味・関心に沿い自主的に選択履修し、豊かな教養人としてグローバル化社会で活躍できる能力を育成します。あるいは、大学院に進学し研究を続けるために必要とされる英語圏文化に関する専門的知識と幅広い教養を養います。

### ③文化交流とビジネスを目指す学生の履修例

社会的責任とリーダーシップ精神を保持し、実践的な英語力と文化的素養をビジネスに結びつけることを目指します。他専攻開講科目、国内企業インターンシップ等を積極的に活用し、現代のグローバル化社会のニーズに応じていきます。

### 3. 英語圏文化専攻固有科目の特色

英語圏文化専攻では、グローバル化時代に相応しい高度かつ実践的な英語運用能力と、背景となる多種多様な英語圏文化に対する広範な知識と深い教養を能動的・主体的に修得し、グローバル化社会で積極的に活躍するグローバル人材を育成します。講義科目のおよそ半数がネイティブ教員による英語による授業です。また、初年次教育では、ネイティブ教員と日本人教員が連携し、高等学校等で学んだ基礎知識を応用しつつ、能動的な学修方法を身につける入門演習を展開しています。また、セメスターごとにネイティブ教員と日本人教員が相互的に乗り入れるような授業形態を2年次演習等で構築しています。英語力増強については、4年次卒業まで持続して授業を運営しています。文化研究関連科目も1年次から継続的、かつ、主体的に修得できるプログラムとなっています。学生たちが放課後を利用し自主的に交流アクティビティを行える施設・設備も整えています。海外研修については、学生にとって馴染み深い英国と北米の二地域を中心に期間は長期・中期・短期を提供し、現地で異文化交流に関する理解を深めることができるようになっています。

### 4. 学修成果と科目との関係

- ① グローバル化時代に即した総合的、かつ、実践的な英語運用能力を身につけ、海外研修を実地訓練とします。

「Oral Communication I～IV」、「Academic Writing I～IV」、「Reading I～IV」、「英文電子文書作成 I～IV」、「Presentation I～IV」、「Professional English I～IV」、「Professional Writing I・II」、「交換留学」、「セメスター留学」、「海外大学研修1・2」、「海外セミナー I・II」等

- ② 英語圏文化に対する複眼的かつ体系的な理解を通じて、英語圏の様々な他者の存在を認識しつつ、様々な価値観を倫理的に判断し、異文化に対する敬意と尊ぶ感性を養えます。

「国際英語入門」、「イギリス研究入門」、「イギリス研究」、「アメリカ研究入門」、「アメリカ研究」、「英語圏研究入門」、「英語圏研究」、「イギリス文学A・B」、「アメリカ文学A・B」、「英語圏文学A・B」、「American Social History」、「British Social History」、「History of Cultural Exchanges I・II」、「Media Literacy I・II」、「Women's History」、「Current Topics I・II」、「比較文学論」、「批評理論」、「エンターテインメント文芸」、「演劇文化論」、「音楽文化論」、「映画文化論」、「現代文化論」、「児童文化論」等

- ③ 自ら研究テーマを設定し、独自の視点から分析調査し、それに基づいて自身の議論を構築し展開します。また、他者との協力・協働作業を通じて、社会性やモラルを身につけ、自ら設定した目標に向かって努力することの重要性を学べます。

「英語圏文化入門演習 I・II」、「英語圏文化演習 I～VI」、「国際キャリア・ディベロップメント」、「Critical Reading I・II」、「Intensive Workshop I・II」、「English Project Workshop」等